

白井市の平和へのとりくみ



「平和都市宣言」はご存知ですか？

平和都市宣言は昭和 62 年 3 月 13 日、町議会定例会において、当時の町長が発表しました。

経緯 議会での請願の趣旨採択、全員協議会での協議のほか、非核平和都市宣言を求める署名(約 1 万筆)の提出がありました。こうした町民の盛り上がりもあり、当時の町議会議長・副議長の参画を経て宣言文は作成されました。

解説 白井市の平和都市宣言は、幅広い市民から共感を得られるよう作成されました。前半部は詩文形式により、柔らかくまちの姿や平和への思いをうたっています。後半部では文章形式により、核兵器廃絶と世界の恒久平和実現への祈りと固い決意を述べています。このような誌文と文章の複合形式は他にあまり例を見ないようです。

平和都市宣言

昭和 62 年 3 月 13 日

白い梨の花が咲く
緑豊かな田園のまち



青く広がる空のもと
ふれあい集う文化のまち

笑顔あふれて歌声ひびき
日々のくらしのやすらぎと
希望に満ちたしあわせが

全人類の大切な地球を愛するから
かけがえのないひとびとを愛するから
語りあおう平和の道を

私たちは生命の尊さを深く認識し核兵器の廃絶と
日本のそして世界の恒久平和の実現を念願します

白井市は市民の平和と繁栄を求める心を結集し
ここに「平和都市」であることを宣言します

戦争体験記「あの戦争を語り継ぐ」

平成 28 年度に平和都市宣言 30 周年を記念し、市民に戦争体験記を募集、応募体験記は「あの戦争を語り継ぐ」と題し、広報しろい(平成 28 年 4 月 15 日号～平成 29 年 3 月 15 日号)に連載しました。連載終了後も引き続き募集を行い、お寄せいただいた体験記は市ホームページに掲載しています。

また、ボランティアの方にご協力いただき、令和4年度から英語、中国語に翻訳して公開しています。

いずれも白井市民の方の貴重な体験談ですので、ぜひご覧いただき、平和の大切さに思いをはせてみませんか。



戦争体験記「あの戦争を語り継ぐ」(白井市ホームページ)

※体験記の内容や協力者の情報は、いずれも広報または市ホームページ掲載時点のものです。

※各記事の内容は全て協力者の本人の発言・聞き取りに準拠しております。そのため、内容の歴史的正確性について保証するものではありません。

平和を考える子どもたちの作品展

毎年、年明け頃に市内の保育園や幼稚園などを通じ、翌年度に小学校に入学する5歳児に、平和をテーマにした作品を自由に作成してもらい、市役所で展示をしています。